

# はなさと夏祭り

第 103 号 25・8・1  
TEL 35 - 5500

## はなさと夏祭り

暑い日が続く中、七月二十七日 第十六回「はなさと夏祭り」を開催しました。

今年は「笑顔の花咲く夏祭り」をスローガンに掲げました。

会場には、提灯が飾られ、バザー等も設置されると、とても雰囲気が出て、いよいよ開催と気分も盛り上がってきました。

五時三十分、浴衣姿の二人の司会により、西尾副院長、鴻巣施設長の挨拶でスタートしました。

催し物は、三組の方々が参加して下さいました。

一組目は、ひだ晶子さんによる歌で、四曲披露して下さいました。素敵な

着物姿で登場し、歌の途中では客席の花道で多くの利用者様、ご家族の方と握手を交わす姿が見られました。中には、感動

のあまり涙ぐまれる方もみえ、会場が一気に華やかなムードに包まれました。

かなムードに包まれました。



二組目は、豊飛会による民謡踊りを四曲披露して下さいました。

踊りは、ふたり踊りや小物を使った踊り等、

客席の皆さんからは手拍子をしながら、とても楽しんでみえました。初め

の三曲は着物姿での踊りでしたが、最後の一曲は

洋装に着替え、雰囲気が変わったの踊りでした。

今年は途中に「飛騨やんさ」を入れ、豊飛会の皆様、ご家族、スタッフに参加していただき、皆で円

になりながら踊り、祭りの気分もより一層盛り上がっていききました。

三組目には、男性、女性を交えた乗鞍連峰太鼓による太鼓を三曲披露して下さいました。



初めにドンという大きな太鼓の音が会場の隅々に響きわたり、太鼓の高い音、低い音が交じり合い、私たちの体に振動が伝わっていき、太鼓の演奏に引き込まれていくような感じでした。

太鼓の演奏が終わると、会場は大きな拍手に包まれました。

夏祭りの最中には利用者様、ご家族の方々のたくさん笑顔の花が咲き、無事に夏祭りを終えること



立葵空へ空へと咲き続ける 江ノ島 作

ができました。本当にありがとうございました。来年の夏祭りも今年以上に利用者様、ご家族に楽しんでいただけますようスタッフ一同取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

## 七夕飾り

七月三十一日、各フロアにて七夕の飾りつけを行いました。

利用者の皆様は、家族みんなが幸せにくらせますようにと、東京にいる孫に会いたいなどの優しい気持ちの願い事を短冊に書いてみえました。

中には息子の嫁に会ってみたいとか、宝くじに当たりますように。などの願望も書いてありました。お星さま、たくさんお願いで大変だと思えますが、どうかみんなの願いがかないますように。



## 八月の行事予定

通所サービス担当者会議

七日・十四日・二十一日・二十八日(水)

花壇ボランティア 九日(金)二十三日(金)

傾聴ボランティア 二十一日(水)

発行担当 事務局